



## サステナブル社会実現の 担い手に

東京土木施工管理技士会 会長  
東急建設株式会社  
代表取締役社長

### 寺田 光宏

2023年の新春を迎え謹んでご挨拶申し上げます。  
会員の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのことと拝察致します。

また、平素より技士会運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年新型コロナウイルス感染症によって落ち着かない日々が続き、経済活動にも多大な影響が出ました。会員の皆様にも少なからず影響が続いているものと存じます。ワクチン接種が順調に進み、「ウィズコロナ」時代に入り社会活動は活発化傾向にあるものの、依然予断を許さない状況です。

さらに、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界情勢不安に加えて、極端な円安による物価高騰や気候変動対策への対応なども含め、建設業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

しかし、逆にこのコロナ禍や資機材の物価上昇、残業上限規制を変革のチャンスと捉えてみてはどうでしょうか。BIM/CIMの導入、ドローンの活用、建設機械の自動化、遠隔臨場の試行など、ICTの積極活用や新技術の開発、生産性向上などが進んでいます。現場のさらなる効率化に取り組むことで、会員各社においても技術革新による週休2日の確保実現や長時間労働の是正など働き方改革が推進されることを期待しているところです。

近年は地球温暖化による大規模自然災害が全国各地で頻発しています。さらに、今年はいよいよ関東大震災から100年という節目の年でもあります。首都直下地震の発生懸念もある中で、都民の安全・安心を守るのは私ども建設業に課された重要な使命です。

また、防災力強化に加えて、道路・交通網などのインフラを整備することは現在のみならず将来にわたり経済効果を波及させるサステナブルな施策です。今後も計画的な建設投資の継続を行政に要望するとともに、サステナブル施策の執行にあたっては当会としても積極的に協力してまいります。

今後も、会員の皆様の技術力により、東京の街づくりを通じて都民の安全と安心を守り、東京の発展に寄与していただけますよう、皆様と共に「魅力ある建設業」を目指してまいりたいと存じます。

結びに、本年も東京の建設業界を取り巻く諸課題に会員企業が対応できるよう取り組んでまいりますので、引き続き会員の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と会員の皆様のご健勝と建設業の益々の発展、さらには国民が安全で安心できる明るい年になることを祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 次代をつくる技術力の向上に向けて

東京土木施工管理技士会 副会長  
戸田建設株式会社  
常務執行役員 土木工事統轄部長

### 中林 雅昭

2023年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大と収束を繰り返す中でも行動制限の解除等により社会経済活動の正常化が少しずつ進みました。しかしながら新たに国際情勢の大きな問題が発生し、世界的なサプライチェーンの混乱や円安等で、私たち建設業界においても、建設資材の高騰など大きな影響が出た年でありました。

こういった中で新しい年を迎えることになり、私たち土木技術者は、この困難を乗り越え、社会都市基盤整備に貢献していくため、あらためて私たちの技術力、技術革新が必要になってくると思います。その中で東京土木施工管理技士会も、土木技術者の技術力を高め社会的地位及び資質の向上を図ることを目的とした、土木技術者の技術力向上にむけた取り組みを進めてまいります。

社会基盤整備の施工と監理を担う私たち土木技術者は、年々複雑化する建設工事の中で、従来の土木技術の高度化、技術研鑽を進めていくことが求められています。またICT施工やCIM/BIM、AIなど新たなDXへの取り組みも進めていかなければなりません。それを進めることにより、私たち土木技術者はCO2の削減をはじめあ

らゆる課題を乗り越えることが出来ていくと思います。

さらに技術力向上を進めることにより、生産性を高めていくことは、私たちにとっての喫緊の大きな課題でもあり、来年2024年4月から建設業にも適用される時間外労働の罰則付き上限規制に対応していくための「働き方改革」推進にも大きな役割を果たしていくと考えられます。

当技士会も、あらためて土木技術者技術向上を図り、また首都都市機能整備に貢献していくと共に、担い手確保につながる魅力ある建設業実現を目指し努力をしております。会員の皆様にも一層のご協力をお願いいたします。

結びになりますが、本年の会員の皆さまのご発展とご健勝を心から祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 持続可能な建設業に向けて

東京土木施工管理技士会 副会長  
清水建設株式会社  
土木東京支店 常務執行役員支店長

### 齊藤 武文

2023年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、平素より技士会運営に格別のご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の流行は未だ収まらず、年末には第8波の感染拡大が観測されるなど、withコロナの状況が続きました。また、一昨年から続く世界的な原材料の高騰と品薄は続き、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安の影響によって、幅広い資材でかつて経験のないほどの価格高騰と納期遅れが発生しました。工事原価の増大する中、民間工事の発注者へスライドへの理解を得ていかなければなりません。一方、コロナ禍において加速したDXはより一層進展し、建設業界の働き方改革、各企業の生産性向上が図られました。

こうした環境において建設業への時間外労働の罰則付き上限規制適用まで残り1年余りと迫ってきました。長時間労働の是正だけでなく、適正な工期の下での週休2日確保や賃金の引き上げなど処遇改善も併せて図り、働きがいのある業界環境を整えていかねばなりません。社会資本の整備を支え震災復興、防災・減災、メンテナンスなど極めて重要な役割を担う建設業界を、

これから先魅力のある持続可能なものとしていくために、会員各社が協力して取り組んでいきたいと思っております。

来年の干支は「癸卯」となります。この「癸」には「春の間近でつぼみが花開く直前」、「卯」には「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるそうです。組み合わせると、「これまでの努力が花開き、実り始めること」を意味する縁起の良い干支です。建設業界の努力が結ばれる良い1年としましょう。

結びに、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、我が国全体が明るい年となることを願うとともに、建設業のさらなる発展と会員各社の皆様方の益々のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。